

北海道今金高等養護学校 R8 第1回学校運営協議会（コミュニティー・スクール）記録

開催日時	令和8年6月26日（金） 10時00分 ～ 11時20分	
会場	北海道今金高等養護学校 会議室	
出席者数	11名	6名（事務局）
出席者名	北海道教育大学函館校 教授 今金町教育委員会 事務局長 今金高等養護学校後援会 会長 今金町役場 総務財政課長 今金町校長会 会長 相談支援事業所相談室ひかり相談員 今金町保健福祉課 保健師 studio claynote 主宰 寒昇町内会 会長 今金高等養護学校 PTA 会長 北海道今金高等養護学校長	教頭 西村 信 弥 事務長 児玉 崇 志 総務部長 塚原 敏 昌 教務主任 西村 信 隆 進路指導部 部長 大倉 正 也 寄宿舎 総務部長 工藤 哲 郎
内 容	発言者	記 録
<ul style="list-style-type: none"> ・開会のことば ・学校経営方針及び教育方針の承認の説明 ・今年度の本校の運営方針の推進についての説明 委員からの質問・意見交換等 	<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>（本校の活動の様子説明について）</p> <p>・マラソン大会は今年度開催しないということだが、今後も開催しないのか。</p> <p>・マラソン大会という形は終了しましたが、長距離走の記録会を複数回行って、生徒が自分の成長を実感できる形で継続しています。他の行事についてもこのような持続可能な方法を検討しています。これにより発生した余剰の時間を、授業づくり等に廻せるようにしたいと考えております。</p> <p>・教員の仕事の大変さを一番に考えると、教育が先細りになる懸念があり、行事の精選は本当に難しい。行事のスクラップについて参考にさせていただく。</p> <p>（寄宿舎の様子説明について）</p> <p>・寄宿舎の自主性を育てる取組を見て感動した。とてもいい取組だが、町民などは知らないのではないか。町民にこの取組を広く発信した方がいいと思う。</p> <p>・障がい者教育の目的は「自立と社会参加」だが、その目的に合致した取組である。保護者にもこの取組の意義が届けばいいと思う。</p> <p>・寄宿舎入舎を選択する本人・保護者の学校選択について情報があれば教えてほしい。</p> <p>・伊達高等養護と本校との2者選択だけではなく、札幌圏の学校を視野に入れるなど全道レベルで考えている保護者が増えているようです。</p> <p>いずれにしろ、（寄宿舎入舎などにより）適切な時期に本校のような自立に向けた適切なスキルを身につけさせる取組が重要だと思う。</p>

<ul style="list-style-type: none">・開校 30 周年記念事業についての説明・閉会のことば	事務局	<ul style="list-style-type: none">・学校選択について、入舎自体が保護者や本人にとってハードルが高いのが実情です。しかし、寄宿舍生活が自立に向けた生活のスキルを身につけるのに有用であるという点を保護者等に理解されたいと思い、日々の指導をしています。
--	-----	--